

(様式第16号)

学校評価実施状況調

改正学校教育法及び学校教育法施行規則が平成19年12月26日に施行されたことにより、各学校においては、教職員による自己評価を行いその結果を公表することが義務づけられ、併せて保護者その他学校関係者による評価を行いその結果を公表するよう努めるものとされました。

つきましては、各私立学校における学校評価の実施状況等について以下に記入願います。

学校教育法施行規則（抄）

第六十六条 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定し行うものとする。

第六十七条 小学校は、前条第一項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者（当該小学校の職員を除く。）による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

[これらの規定は、幼稚園、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に準用されています。]

		学校名	常総学院中学校
令和元年度の状況			
1 学校評価の実施状況	※該当項目にチェック	(未実施の理由)	
① 教職員による学校の自己評価を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		
② 保護者等学校関係者による学校評価を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		
③ 第三者による学校評価を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		
2 評価結果の公表状況			
① 保護者、学校評議員等関係者にのみ公表	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	学校評議委員会にて公表	
② 広く一般に公表	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	ホームページにて公表	
令和2年度の計画			
1 学校評価の実施予定		(未実施の理由)	
① 教職員による学校の自己評価を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		
② 保護者等学校関係者による学校評価を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		
③ 第三者による学校評価を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		
2 評価結果の公表予定			
① 保護者、学校評議員等関係者にのみ公表	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		
② 広く一般に公表	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施		

※ 令和元年度の公表資料を添付すること。

評価者：学校関係者による評価者：常総学院高等学校同窓会会長 学校法人常総学院評議員
飯田 晃久

第三者による評価者

：西根地区

西根区区長 下村正人

令和元年度 常総学院中学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度の重点目標の達成状況について	<p><input checked="" type="radio"/> A 十分達成している</p> <p><input type="radio"/> B どちらかといえば達成している</p> <p><input type="radio"/> C どちらかといえば達成していない</p> <p><input type="radio"/> D 達成していない</p>	<p>・学力の定着において、これまでの手法に加えてICT機器を利用したアクティブラーニングを導入していることが評価できる。これからもより一層きめ細やかな指導をお願いしたい。</p> <p>・挨拶、服装がしつかりしており、生徒指導が行き届いている様子がよくわかる。SDGsをあげ活動しているので、今後は学校の規律も含め社会的なマナーと社会的貢献等も生徒に教えてほしい。</p>
2. 学校の自己評価表の具体的目標 及び 具体的方策の達成状況について	<p><input checked="" type="radio"/> A 十分達成している</p> <p><input type="radio"/> B どちらかといえば達成している</p> <p><input type="radio"/> C どちらかといえば達成していない</p> <p><input type="radio"/> D 達成していない</p>	<p>・教科について、どの教科も漢字や英単語などの小テストを入れ、基礎学力の定着を目標に努力していることがわかる。特に英語に力を入れており、4技能習得に向けたカリキュラムが充実していると言える。</p> <p>・校務分掌では、具体的な目標を掲げ努力している。今後とも継続して行ってほしい。</p>
3. 次年度への主な課題の把握について	<p><input type="radio"/> A 十分把握している</p> <p><input checked="" type="radio"/> B どちらかといえば把握している</p> <p><input type="radio"/> C どちらかといえば把握していない</p> <p><input type="radio"/> D 把握していない</p>	<p>・今年度の方策に加え、さらに保護者の要望と社会の要請に応じた教育を、無理のないように工夫し、生徒に学力をつけると共に人間性の向上も目指してほしい。</p>
4. 改善方策の策定状況について	<p><input checked="" type="radio"/> A 策定できている</p> <p><input type="radio"/> B どちらかといえば策定できている</p> <p><input type="radio"/> C どちらかといえば策定できていない</p> <p><input type="radio"/> D 策定できていない</p>	<p>・現状を把握しながら改善策を講じていることがわかる。今後とも、各項目において一層の改善策を講じてほしい。</p>

※「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。

令和元年度 常総学院中学校学校第三者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度の重点目標の達成状況について	<input checked="" type="radio"/> A 十分達成している <input type="radio"/> B どちらかといえは達成している <input type="radio"/> C どちらかといえは達成していない <input type="radio"/> D 達成していない	・きめ細かな指導が行われており、社会のリーダー育成に努めていることが伺われる。 ・生徒指導の点においては、挨拶・服装がしつかりしており、指導の徹底が見受けられる。社会的マナーのさらなる向上に期待している。
2. 学校の自己評価表の具体的目標 及び 具体的方策の達成状況について	<input checked="" type="radio"/> A 十分達成している <input type="radio"/> B どちらかといえは達成している <input type="radio"/> C どちらかといえは達成していない <input type="radio"/> D 達成していない	・英語を中心として、各教科において、具体的目標を掲げて学力向上に取り組んでいる。 ・校務分掌においては、円滑な学校運営が行われており、学校の活性化に向けての努力が伺われる。
3. 次年度への主な課題の把握について	<input checked="" type="radio"/> A 十分把握している <input type="radio"/> B どちらかといえは把握している <input type="radio"/> C どちらかといえは把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	・各教科・校務分掌において、丁寧に現状分析が行われている。ICT機器を利用し、アクティブラーニングを取り入れて、目標達成に向けて一層の努力を期待している。
4. 改善方策の策定状況について	<input checked="" type="radio"/> A 策定できている <input type="radio"/> B どちらかといえは策定できている <input type="radio"/> C どちらかといえは策定できていない <input type="radio"/> D 策定できていない	・改善策を講じる際は、現状を把握しながら、無理のないように工夫しながら行ってもらいたい。新年度においては方策を確実に実行し、改善に努めてもらいたい。

令和元年度 常総学院中学校自己評価表

★5段階評価 A目標が十分達成された Bある程度の成果が見られた C取り組んだ D取り組んだが課題を残した E取り組まなかった

目指す学校像	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題・改善方策
国語	基礎学力の定着と応用力の向上。自学自習力の育成を図る。	各学年に応じた教材の選択や精選とわかりやすい授業展開を心がける。	A	ICTを活用した学習指導の充実を図る。生徒からの振り返りの回収を定期的に行い、指導に活かしていく。教科横断等を充実させる。
		基礎学力定着のために、漢字テストや課題プリント等の工夫をする。	A	
社会	基礎的な知識を身につけさせ日本人として国際社会で通じる人材の育成を図る。	中1は地理分野を学び、基礎知識の習得や系統学習に取り組ませる。常友祭で研究発表も行う。	A	クイズや資料等から別個の状況を推測・推理する能力(考える力)を養成する。ICT教育・ALへの取り組み。
		中2は歴史分野の後半と公民分野を中心に、現代社会の基礎的な知識や語課題解決のあり方を考察させる。	A	
		中3は歴史分野の後半と公民分野を中心に、現代社会の基礎的な知識や語課題解決のあり方を考察させる。	A	
数学	綿密な授業計画をもとに基礎学力の定着と応用力の向上を目指す。	中1は予習→授業→復習の習慣化と課題提出期限の厳守を徹底する。	A	基礎学力を定着させつつ、応用力も養成する。
		中2は中1同様学習習慣の確立と発展応用力の向上を図る。	A	
理科	自然や科学に対する関心や探究心を高め、論理的に考える力を育成する。	中1は、観察・実験技能の習得と興味関心を育てる。	A	実験・実習のさらなる充実。ICT機器を利用した実験・観察の実施。学び合い等、ALの実施。
		中2は、科学的な見方や考え方を養う。	A	
		中3は、より深い知識の習得と学習方法を身につける。	A	
体育	体力を醸成、集団での自己の役割を認識させ、自発的に行動させる。保健の基礎知識を習得させる。体育の授業において、怪我等の事故防止に努める。	体育の個人授業は視聴覚教材を積極的に取り入れ、興味関心を喚起する。	A	体育分野での個人的技能の向上と保健分野の視聴覚教材のさらなる活用。デジタル教科書の導入。
		怪我等の事故防止のために準備運動や安全管理に努め、常に気を配る。	A	
芸術	創造力と芸術の楽しさ、こころ豊かに生きることの大切さを伝える。	音楽や美術を通して、感動や作り上げる達成感や豊かな感性を育成する。	A	芸術分野に興味関心を持たせる。芸術に理解のあるグローバルな人材育成。
		中1～中3の3年間を通して授業や文化祭で様々な経験させることでコミュニケーション能力を培い、他者と中心の心づかいを感じ取り、感受性を豊かに育てる。	A	
		中1・中2は美術鑑賞学習を通して美術鑑賞を積極的に行う。	A	
英語	基本英単語の定着と会話力、基礎学力の向上を図る。	中3はニューズリーダー海外研修を通じ、外国の風景や文化を体験させる。	A	中学課程の基本内容を定着させ、英語を使って積極的にコミュニケーションをとることができる生徒の人数を増やし、実践・実習のさらなる充実。
		中1・中2はニューズリーダー海外研修を通じ、外国の風景や文化を体験させる。	A	
		中3はニューズリーダー海外研修を通じ、外国の風景や文化を体験させる。	A	
技術家庭	学習を日常生活に生かし、自立に必要な生活技術の向上を図る。実習中の衛生面・安全面などの事故防止に努める。	本校指定の基本英単語全てを全員が習得するまで根気よく追試試験を行う。	A	目標を「先読み」とし、3ヶ月前をみて行動する。(早めの対応) 事務処理や文書処理でノーマスを達成する。変更・臨機応変に対応し、連携する。
		教科書・補助教材の活用と反復練習で基礎学力定着と応用力を身につけさせる。	A	
		自立に必要な調理と板金の基礎基本を身につけさせる。	A	
総務課	表簿類の手配や印刷室の管理、事務用品の管理等を行う。	年間行事計画立案と円滑な実施が可能となるように毎月各分掌と連絡調整を図る。	A	円滑な運営方法の検討。
		茨城県私立学校振興会関連の諸調査及び回答文書作成を迅速に行う。	A	
		出席簿、学習日誌、教務手帳、指導要録等の発注手配を教務と連携して行う。	A	
渉外課	入学式、卒業式等の式典や父母の会総会等の総括を行う。	印刷室環境美化に努め、印刷用紙の在庫管理や発注を行う。	A	円滑な運営方法の検討。
		印刷用具やフライヤー、その他事務用品全般の管理及び発注を行う。	A	
		入学式、進級式等の式典関係の運営をとりまとめる。	A	
渉外課	入学式、卒業式等の式典や父母の会総会等の総括を行う。	父母の会総会の役員及び来賓者への連絡や応対を渉外課と協力してとりまとめる。	A	円滑な運営方法の検討。
		全体行事全般について各分掌間との連携を図り円滑に運営できるように努める。	A	
		父母の会総会や学級懇談会への保護者の出席増加のための資料作成や講演内容の検討に努める。	A	
渉外課	父母の会総会や父母の会各支部活動の活性化。	父母の会各支部総会の出席者増加のための資料作成や講演内容の検討に努める。	A	円滑な運営方法の検討。
		父母の会研修旅行への積極的な参加を呼びかける。	A	
		父母の会正副会長会議や後援会等の事前準備及び会議運営の補助に努める。	A	
渉外課	父母の会役員会や後援会会議等の補助。	父母の会関連諸会議への協力や出張補助に努める。	A	円滑な運営方法の検討。
		父母の会及び教職員懇談会などの準備や手配に協力する。	A	
		父母の会新聞や父母の会各支部だよりの取付や編集、発行業務を支援する。	A	
渉外課	父母の会広報活動。	父母の会新聞や父母の会各支部だよりの取付や編集、発行業務を支援する。	A	円滑な運営方法の検討。
		父母の会新聞や父母の会各支部だよりの取付や編集、発行業務を支援する。	A	
		父母の会新聞や父母の会各支部だよりの取付や編集、発行業務を支援する。	A	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	評価	次年度(学期)への主な課題・改善方策
施設環境課	教育施設全般の管理にあたる。	机、椅子、教卓、教壇、黒板、掲示板などの教室備品の管理と整理を行う。 校内外の清掃活動の徹底と学校環境の整備・美化に努める。 清掃用具の管理や不足分の調達、その他必要な物品等の購入を検討する。 年間2回の避難訓練の計画を立案し、実行する。	A	A	次年度(学期)への主な課題・改善方策 学校備品のきちんとした管理、清掃作業の徹底を通して、学校環境の美化・向上に努める。 各教室の机、椅子の交換を速やかに進めていく。
	省エネ、防災活動の徹底。	各種警報装置や防火管理設備の点検を定期的に行い万が一に備える。 照明器具の省エネに努めると同時にエネルギーサウーの清掃を定期的に行う。 各教室やトイレ、特別教室などの常日頃から整理整頓を徹底させる。 各教室の机や椅子、その他不具合のある備品の交換や修理を計画的に行う。	A	A	
	清掃状況確認及び学校見学会、入試関係の諸準備手配。	学校見学会、本校入試会場準備の際の清掃の指示及び最終確認作業。 学校生活の上で不要な物品や特に携帯電話の校内持込禁止の徹底を図る。 授業開始のベルが鳴る前に着席する「ベル着」や授業中私語禁止の指導徹底を図る。 全員着席を目標に毎日学校に登校し、勉強に取り組み姿勢を指導徹底する。 全員の傘と連携し、各支部単位で祭準備や列車指導、バス指導などを展開する。 制服検査委員会、給食検査委員会、学年検討委員会等で学校との連携を図る。 父母の会各支部総会での生徒指導関連の情報交換会や相談会の実施。	A	A	学校内での生活指導強化の他、学校外での服装・マナーなど、生徒の意識向上を図る。自ら率先して挨拶や声掛けができるように声掛けを実施する。校外、校内での危険回避能力を身に付け、行動できるようにする。
	規律ある落ち着いた学校の雰囲気作り。	父母の会との連携を図り、問題解決にあたる。 県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
生徒指導課	心の教育の充実。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	生徒会活動の活性化を図る。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	サークル活動の活性化を図る。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	B	
	新入生歓迎会、常友祭、芸術鑑賞会等の諸行事を振替する。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
特別活動課	保健衛生管理に努める。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	生徒の健康管理。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	教育相談の実施。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	授業時間の確保に努める。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
保健相談課	適切な教育課程の編成とシラバスの完成に努める。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	教科による研修の充実を図り、授業力の向上に努める。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	適切な学習指導の実施に向けて、教育課程・授業内容(シラバス)検討、見直しを進めていく。また、学習の進度や指導方法について随時確認をする。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	適切な学習指導の実施に向けて、教育課程・授業内容(シラバス)検討、見直しを進めていく。また、学習の進度や指導方法について随時確認をする。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
教務課	適切な教育課程の編成とシラバスの完成に努める。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	教科による研修の充実を図り、授業力の向上に努める。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	適切な学習指導の実施に向けて、教育課程・授業内容(シラバス)検討、見直しを進めていく。また、学習の進度や指導方法について随時確認をする。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	
	適切な学習指導の実施に向けて、教育課程・授業内容(シラバス)検討、見直しを進めていく。また、学習の進度や指導方法について随時確認をする。	県立、私立高校共同のさわやかマナーアップ運動」の展開。 社会のルールを守ることや他人への思いやりの大切さを徹底指導する。 消火活動や事故防止活動、その他いわゆる「善行肌」に対する意識の高揚を図る。 生徒会が企画運営する学校行事に関する支援や工夫をアポイントする。 生徒会予算編成・執行に関する業務を正確・迅速に行えるよう支援する。 生徒会誌「常緑」の編集を支援することで伝統とプライドを持たせる。	A	A	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題・改善方策	
中学1年	「至誠と礼節」をスローガンに、何事にも誠実に取り組むこと、他者に対して礼を尽くす姿勢を育てる。	<p>子ども手帳の提出で規則正しい生活リズムを習慣づける。</p> <p>英教団を軸とする習熟度別の特講体制の充実を図る。</p> <p>挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの細かい指導を徹底する。</p> <p>集団での自己の役割、友人や教師との接し方などを細かく指導する。</p> <p>学校と家庭の連携を重視するとともに学年教員間の共通理解にも配慮する。</p> <p>ボランティアリーダーチームの活用による将来のあり方と学習のきっかけをつかませる。</p> <p>何事にも一生懸命に行動し、周囲へ配慮できる生徒を育てる。</p> <p>成績上位者や下位者や下位者に向けての指導をする。</p> <p>進路に関して、目標を具体化させる。</p> <p>進路に関して面談時間を確保する。</p> <p>英検、漢検、教検等の資格取得を推進し、目標に向かう姿勢を育てる。</p> <p>空き時間、期前、期限と守らせ、社会集団の一員としてのルール・マナーを養う。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>自ら積極的に学ぶ姿勢を養うために、ICTをどのように活用したらいいか、検証する必要がある。授業での学習活動に加えて、「探究活動」に積極的に取り組むことで、主体的で深い学びへと誘導していく。</p>
中学2年	「Active Challenge 2018」をスローガンに何事にも「自分ごと」として挑戦していく姿勢を育てる。	<p>中学最高学年として模範となる生徒の育成をはかる。</p> <p>学校生活において友人と励まし難いあう中で自分自身を高めさせるよう指導する。</p> <p>学習面で高校課程に移るため基礎事項の定着を目指す</p> <p>ニュージューランド海外研修を通して国際人としての視点を考えさせる。</p> <p>学校生活に対するモチベーションを高めるために、進路指導の強化をはかる。</p> <p>英検、漢検、教検等の資格取得を推進し、目標に向かう姿勢を育てる。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>高校生としての自律する意識づくりと、課外活動と学習活動の両立を図る。学習面では、今年度で学んだ高校課程の定着を目標とする。学校生活に対するモチベーションを高めるために、進路指導の強化を図り、文理選択を考えさせる。</p>
中学3年	「Nothing is Possible」を学年スローガンとして、JOSO Coreスキルや未来スキルの育成を目指し、自身の持っている能力を最大限に発揮させる。	<p>「Nothing is Possible」を学年スローガンとして、JOSO Coreスキルや未来スキルの育成を目指し、自身の持っている能力を最大限に発揮させる。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>「Nothing is Possible」を学年スローガンとして、JOSO Coreスキルや未来スキルの育成を目指し、自身の持っている能力を最大限に発揮させる。</p>